

産業経済新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN発行所 〇産業経済新聞東京本社2006  
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2  
☎ 東京(03)3231-7111(大代表)

## 次代を担う子供たち育成

# 「心拓塾」10月開校

ヒーローズ・エデュテイメント

子供の夢や希望をはぐくみ、次代の日本を担うリーダーを育成しよう。小学生の「心」の涵養を目指す私塾「心拓塾」が今年10月に開校する。設立したのは、コンビニエンスストア「am/pm」を創設し、現在、am/pmジャパンの特別顧問を務める秋沢志篤さん。今年3月、塾の運営主体となる会社「ヒーローズ・エデュテイメント」を立ち上げた写真。

講師には、プロ野球千葉ロッテマリーンズのボビー・バレンタイン監督や歌手の松山千春さん、元F1ドライバーの片山右京さん、タレントの堺正章さんら、秋沢さんと親交があり、同塾の趣旨に賛同した各界の著名人が名を連ねる。社名の通り、ヒーローが直接、子供たちに語りかけて、心の教育にあたる。

著名人を講師に選んだ理由を「何かを成し遂げた人には確かな足跡がある。彼らが持つ説得力や集中力、探求心といったものは人をひきつけ、『教わりたい』と思わせる。『心を伝える教育』には適任だと考えた」と秋沢さん。

コンビニの経営を通じ目にした、店頭で座り込む少年たちの姿などから、「夢を発見するきっかけとなる心の教育が必ず」と感じたという。講義には保護者が一緒に参加することが条件。学校や塾な



どのように子供を預けっぱなしにせず、親子でよりコミュニケーションを図ってもらいたい考えた。

同塾では小学生に「人や自然を大切にするやさしさ」▽「規則を守る意識」▽「競争に立ち向かう力強さ」を身につけてもらうことを目指す。まずは8月4日から4日間、東京都内で親子参加の特別サマースクールを実施する(7月15日申し込み締め切り)。受講料は1人11万6000円と決して安くはないが、期間中、バレンタイン監督と語り合うなど、著名人が次々と登場し、自らの人生経験を語りかける。本格的な開塾は10月で、1クールを半年間とし、月に1度のペースで講座を開く予定だ。

問い合わせは「ヒーローズ」(☎03・3222・1160、ホームページ <http://www.heros-edu.co.jp>)。

本紙では今月18日付から、火曜日(毎月最終週除く)に、小学生の悩み「心拓塾」の講師が回答するコーナーを新設します。相談(200字以内)と住所、氏名、電話番号、学年・年齢を明記のうえ、FAX(03・3270・2424)かメール(life@sankei.co.jp)で「小学生悩み相談」係へ。紙上では原則匿名にします。